

東吾妻町議会だより

第 53 号

みんなの議会

2019.5.1



新しい議場で初めての定例会が開かれました

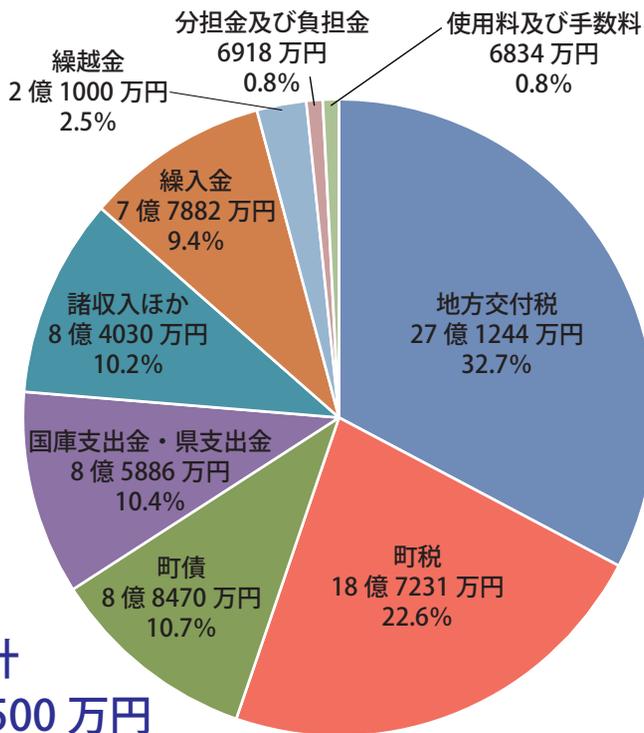
今号の内容

- 税金の使い道が決まりました…… 2
- 5議員が町政を問う **一般質問** … 6
- 吾妻中央高校生議会を開催…… 12
- 各委員会からの活動報告…… 16
- まちの声…… 18

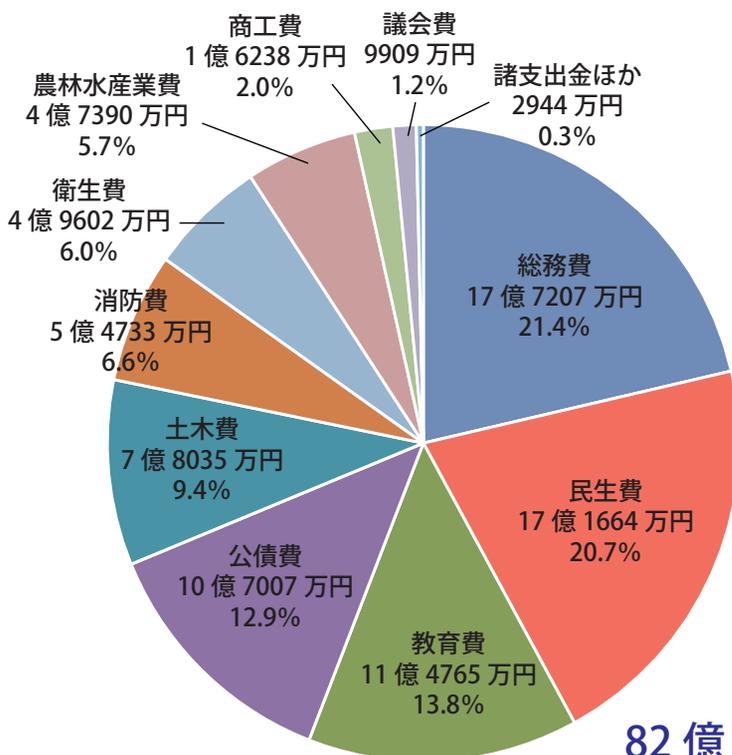
(3月4日～15日)

税金の使い道が決まりました

平成31年度一般会計当初予算は82億9500万円
前年度にくらべ6700万円の増額（0.8%）



歳入合計
82億9500万円



歳出合計
82億9500万円

平成31年第1回定例会が、3月4日から15日までの12日間、役場新庁舎3階の議会議場で開かれました。
会期中、町長から提案された平成31年度の当初予算や条例の改正、平成30年度の補正予算などの議案が審議されました（議案などの審議結果については、11ページの表をご覧ください）。
なお、町政一般質問には5人の議員が登壇して町政を質しました（6から10ページをご覧ください）。

健康増進センターがオープンしました

新たに町民体育館の中に健康増進センターが

オープンし、町の体育施設として管理されることになりました。それにより、健康増進センターの使用料を定めることになりました。

平成31年度 予算編成方針

国の平成31年度予算は、新経済財政再生計画の枠組みのもと、引き続き手を緩めることなく本格的な歳出改革に取り組み、歳出全般で施策、制度の抜本的見直しや、各経費間の優先順位の厳しい選択を行い、無駄を徹底して排除しつつ予算の中身を大胆に重点化する

としております。

町におきましても、限られた財政の中で、予定された多くの財政需要に的確に対応するため、既存事業の徹底した見直し、新規事業についても優先順位を厳しく行い、より踏み込んだ経費の削減と合理化が図れるよう、新年度予算を編成いたしました。平成31年度一般会計予算は総額82億9500万円を計上し、前年度比では0.8%、金額にいたしまして6700万円の増額となっております。



● 1回使用料：3000円

● 定期券（6カ月）

管内の使用者：1万円

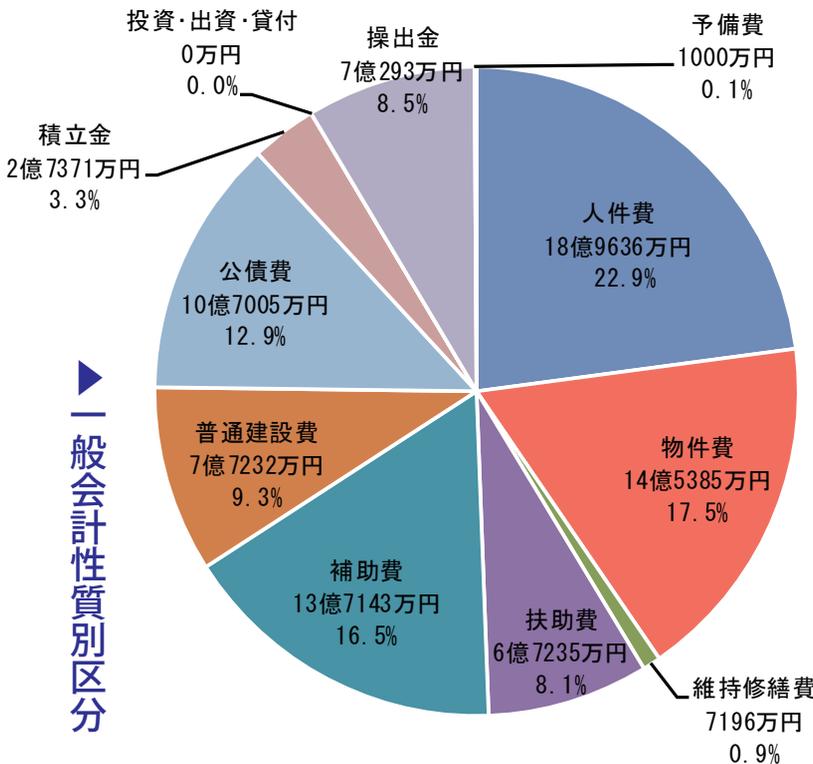
管外の使用者：1万8000円

※管内の使用者とは、町民または町内に勤務・通学する者

特別養護老人ホームいわびつ荘の指定管理者が決まりました

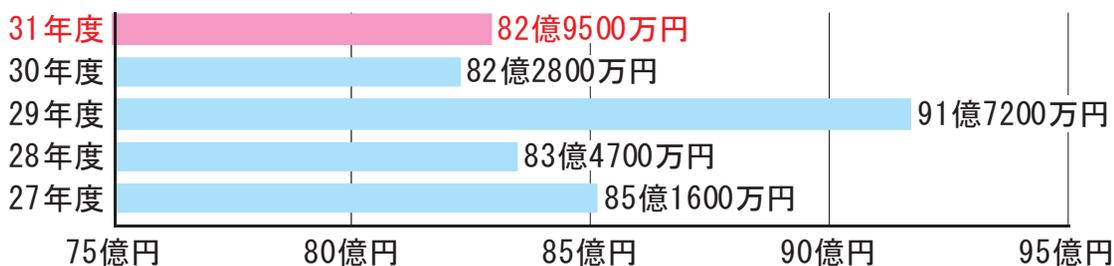
特別養護老人ホームいわびつ荘は平成26年4月から指定管理者の管理運営となり、3月31日で1

期目の指定期間が満了となりました。そこで、次



一般会計性質別区分

一般会計当初予算額の推移



期指定管理者の選定にあたっては候補者の選定の特例を適用し、非公募として手続きを進めてきました。

●指定管理者：社会福祉法人 春風会 理事長 南波和憲（中之条町）

●指定期間：平成31年4月1日から平成36年（2024年）3月31日までの5年間

■工事請負契約の変更締結

町民体育館の改修工事で、契約金額を変更するもの。

●変更後の契約金額：5954万400円

●契約相手：宮崎工務店（株） 代表取締役 宮崎通（東吾妻町）

■工事請負契約の締結

岩島小学校に空調設備を設置する工事で、エアコン34台などを23室に設置するもの。工期は6月28日まで。

●契約金額：6588万円

▼平成31年度会計別予算額

会計名	歳入・歳出		
	31年度	30年度	対前年比
一般会計	82億9500万円	82億2800万円	0.8%
国民健康保険 特別会計	17億8923万円	19億203万円	▲5.9%
事業勘定 施設勘定	9062万円	1億174万円	▲10.9%
後期高齢者医療特別会計	2億623万円	2億874万円	▲1.2%
介護保険特別会計	17億3166万円	16億7191万円	3.6%
地域開発事業特別会計	4684万円	6081万円	▲23.0%
下水道事業特別会計	5億1831万円	5億3282万円	▲2.7%
簡易水道特別会計	6732万円	7941万円	▲15.2%

公営企業会計名	収 入 支 出				
	31年度	30年度	31年度	30年度	
水道事業会計	収益的	2億74万円	2億1263万円	1億9933万円	2億801万円
	資本的	1億1870万円	9858万円	2億3660万円	2億2075万円

▼平成31年度に繰り越すことが決まった事業

事業名	金額
庁舎建設事業	4591万円
定住促進事業住宅取得補助金交付事業	1126万円
水源地域活性化支援事業	950万円
自立分散型エネルギー設備等導入推進事業（コンベンションホール）	2億8776万円
プレミアム付商品券事業	115万円
住宅新築改修等補助金交付事業	300万円
道路改良事業（町道新井・横谷・松谷線）	610万円
道路改良事業（上信自動車道関連）	765万円
橋梁補修事業	6650万円
自立分散型エネルギー設備等導入推進事業（東吾妻中学校）	7051万円
中学校武道館耐震診断業務	216万円
自立分散型エネルギー設備等導入推進事業（町民体育館）	8272万円

●契約相手：富沢設備（株） 代表取締役 富澤通之（東吾妻町）

●契約相手：利根電気工事（株） 沼田支店 支店長 村松義博（沼田市）

費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

●東吾妻町監査委員条例の全部を改正する条例

●東吾妻町総合計画審議会条例の全部を改正する条例

その他決まったこと

●東吾妻町特別職の職員

で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び

●東吾妻町小口資金融資

促進条例の一部を改正す

議事録（会議録）をホームページに掲載しています

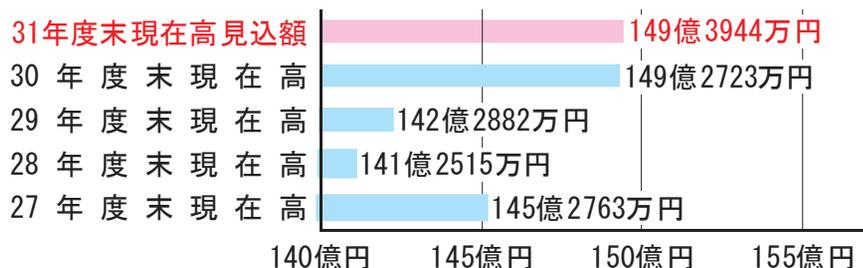
議会の定例会・臨時会の議事録をホームページに掲載しています。また、本会議の議事録、委員会や議員全員協議会の議事録は、閲覧できるように議会事務局に備え付けています。



▼町債残高一覧表

区 分	30年度末現在高	31年度末現在高見込額
一般会計	114億4973万円	116億6797万円
国保特別会計(施設勘定)	1202万円	978万円
地域開発事業特別会計	128万円	0円
下水道事業特別会計	26億 504万円	24億9155万円
簡易水道特別会計	1億8561万円	1億7890万円
水道事業会計	6億7354万円	5億9122万円
合 計	149億2723万円	149億3944万円

▼町債残高の推移



▼平成30年度 補正予算一覧表

会 計 名	補 正 額	予算総額	
一般会計 (第6号)	3億2184万円	87億9656万円	
国民健康保険特別会計	事業勘定	-2768万円	19億4273万円
	施設勘定	-695万円	9345万円
後期高齢者医療特別会計	-50万円	2億 824万円	
介護保険特別会計	6548万円	17億7523万円	
下水道事業特別会計	-2628万円	5億 623万円	
簡易水道特別会計	-121万円	8060万円	

- る条例
- 東吾妻町森林環境譲与
税基金条例
- 東吾妻町立学校給食セ
ンター設置条例の一部を
改正する条例
- 群馬県市町村総合事務

- 組合の規約変更に関する
協議
- 権利放棄につき議決を
求めること
- 東吾妻町農業委員会の
委員の過半数を認定農業
者及び認定農業者に準ず

- る者とする
- 東吾妻町農業委員の任
命について
- 町道路線の廃止
- 町道路線の認定

表 彰



地方自治の発展に貢献した功労者として、須崎幸一議員(写真:左)が全国町村議会議長会長から自治功労者表彰(議員15年表彰)、同時に群馬県知事から感謝状(永年勤続議員)を受け、第1回定例会初日(3月4日)に浦野議長から伝達が行われました。

また、浦野政衛議長(写真:右)も自治功労者表彰(議員15年表彰)と感謝状(永年勤続議員)を受け、その受彰報告を行いました。

5 議員が町政を問う

一 般 質 問

このコーナーでの質疑応答は編集してあります。本会議中の正確なやり取りについては、町ホームページの会議録（6月中旬に掲載予定）をご覧ください。

Q

新たな発想で誇り高い東吾妻町をつくっていくため町長の考えは

A

「町民と行政の協働によるまちづくり」を目指していくことが私の決意である



根津光儀 議員

Q

第1次総合計画でうたっていたながら制定されなかった「町づくり条例」が、今定例会において「町づくり参加条例」としてようやく制定された。ここに新しい発想によりみんなが参加する「まちづくり」が始まるうとしている。町長の意気込みを伺う。

A

総合計画のタイトルを「住民が誇りを持って暮らす町」と定めた。サブタイトルとして「東吾妻 きみと あなた」と定め、将来を担う子ども達へのメッセージも込めた。これを合い言葉に「町民と行政の協働によるまちづくり」を目指していくことが私の

決意である。

Q

総合計画をはじめとする各種計画実行のうえで、進行に合わせた検証や外部からの評価を受けていくことは重要だが、そのことに固執していたのでは新しい発想は出てこない。パブリックコメントの募集期間は2週間程度と短く、ほとんどの場合応募がないのが通例だ。町の皆さんの意見を積極的に取り入れる機会をつくり、同時に若手職員の発想を求めているべきではないか。

A

「ひがしあがつま創生会議」を早急に組織し、外部評価の取り入れや計画見直しなどをスピーディーに行う。担当

職員の提起や各課横断的な意識共有も重要だ。

Q

第1次総合計画の期間中未達成のものが多くある。ヘリポート整備の充実については、未舗装で雑草の繁茂により着陸できない例がある。子ども・子育て支援計画において、平成30年度中に町内すべての地区に放課後児童クラブを設置すると計画されていたが、岩島地区だけ着手されていない。命と生活に直結した事柄である。第2次総合計画を進行させていくうえで、どのように考えているか。

A

未達成なものについては、庁内で検証等を行い第2次総合計画に

反映させた。ご指摘の件については地域から要望もいただいている。よく調査し関係機関と調整のうえ、進めていきたい。



総合計画は第1次から第2次へバトンタッチされた



高橋 徳樹 議員

Q 新規住宅取得奨励補助金について

A まず、制度の周知に心がけ、必要なものについて検討していく

家賃補助等制度枠を広げる構想は。

A まだ制度が創設されたばかりなので、まずは制度の周知に心がけ、必要なものについては検討していきたい。

Q 若年層や子育て世代の方々の町外への流失を防ぎ、町内に定住させることは、喫緊の課題である。平成30年度から開始された新規住宅取得奨励補助金制度の進捗は。

A 現在、事業認定を行ったものが19件、このうち年度内に完成が予定され交付決定しているものが14件あり、補助金ベースでは1878

万9千円。19件の内訳は、町外から新規転入者は5件で、人口増の観点からは、大人10人、子供7人増、14件は町内在住者からの申請で、このうちアパート住まいの方から6件。内訳は大人12人、子供は11人。その他は8人で大人15人、子供10人である。

Q 人生において、住宅購入資金は教育資金

老後資金と並ぶ三大支出といわれる。住宅購入に一步踏み出すことは、大きな判断で定住につながるもの。今後さらに補助金増額、または土地取得

で

出会いプロジェクトについて

Q 出会いは古くて新しい課題。地区を廻ると、高齢になつたご両親から同制度

Q 同制度は極めて重要。これからは同制度をサポートする意欲ある個人の方を婚活プランナー（仮称）等認定するなど、予算枠を増やし町内をあげて推進すべきと考える

が。

新規住宅取得奨励補助金制度を利用して建設中の住宅



A 今後もさまざまな若者の出会の場の創出について支援したい。婚活プランナーなども参考にしたい。

Q

こんにちは赤ちゃん事業をさらに進める施策を

A

産婦健診、産後ケアを導入する



青柳はるみ議員

Q わが町は「こんにちは赤ちゃん事業」でママさんが安心を得ているという。この唯一家庭に入れる事業を継続し、母と子を見守る体制を切れ目なくすることが必要だ。また、産後つつ対策として、ヘルパーのようにママさんを手伝うネウボラ制度を考えては。

A 産後つつ対応として新生児訪問の面談で必要に応じ専門職につなげている。平成31年度から産婦健診、2020年度からは産科病院等と連携した産後ケアも導入予定だ。

Q 学校では人権擁護委員の講話、性同一性障害やがん教育などを実施しているが、これに加え実際に赤ちゃんに触れる「赤ちゃん先生事業」を提案する。近隣小中学校でも開催され、生徒は小さな命を抱っこしてかわいいと思い、自分もこのように大切にされたと感じるという。来校する母子も生徒が赤ちゃんに感動する姿を見て、自分の子をより大切にしようと思うというが。

A 生徒及びPTA研修会で人権と命の講演を実施した。来年度も「命の授業」を予定している。それをさらに発展させる施策だが、学校現場の意見を参考に進めていきたい。

Q 学校以外にも子どもの居場所作りが必要ではないか。学校に行きにくい生徒が学校以外で通える所が必要ではないか。家庭内だけでなく社会とつながる場所が

欲しい。高崎市での取り組みを視察したが、個別に指導ができればいいというが。

A さまざまな要因で登校したくてもできない子どもも達にとつて、学校以外でも心の居場所があることは安全、安心を旨とした支援の一つと考える。中之条町が適応指導教室を立ち上げている。当町では中学校に指導員

の配置と居場所となる部屋を用意している。適応指導と共に児童生徒の課題や立場に寄り添いながら支援し、信頼できる関係を築くよう図っていく。

Q 高校生向けの放課後勉強スペース、スタディバンクを。

A 学力向上や地域の賑わいのため、支援をしていきたい。

みんなが笑顔に
赤ちゃん先生プロジェクト

『赤ちゃん先生』ご存知ですか？

日本では、出産を機に仕事を辞め一方、育児に迷われ孤立を感じる母親が増えています。そんな母親たちが、子どもと一緒に社会と繋がる場所が「赤ちゃん先生プロジェクト」です。活動内容としては、ママと赤ちゃん（0歳～3歳）が、教育機関や高齢者施設等、様々な場所へ行き、遊び、笑顔、命の尊さを伝えます。たくさんの方が心動く、「感じる」ことで生きていることの素晴らしさを実感できます。

『赤ちゃん先生』の活動先

高齢者施設へ

高齢者施設では一緒に触れ合ったり、手遊びをしたり、抱っこな赤ちゃんに触れることで普段見られないような笑顔が溢れたり、ママも育児の大先輩のお話を聞けたりと、とてもいい経験になります。

小中学校へ

毎月、同じ赤ちゃん先生とママ講師とのふれあいを通じて、産後や育児を始めた自分のキャリアアップを確立させ、育児体験を通して新たな生き生きと、生涯のパートナーを探る軸となる考え方を身につけることでライフプランを明確にする。また、社会の中で自分の自立の自信と役割を担い、社会の課題に役立ち、社会参加への意欲を高めることで社会力を身につける。

NPO法人ママの働き方応援隊 群馬西校
Mail:gunma-nishi@mamahata.net
TEL:080-3219-4210(七とき)
URL:www.mamahata.net

赤ちゃん先生を紹介するパンフレット

Q 住民と協働のまちづくりの計画は

A ひがしあがつま創生会議を中心に行う

Q 集会所等の新築工事や増改築工事などの件数と予算について現状をどう捉えているのか。

A いくつかの区からお話を伺っている。

住民センター整備事業補助金をはじめ、大きな新築工事は、宝くじの収益金を原資とした各種コミュニティ助成事業等を活用し、地域住民の財政的な負担軽減に努めている。

Q 老朽化して耐震工事を必要とする中央公民館施設について今後、どう取り組んでいくのか。また、その財源は。

A 当面は改修をしながら、教育機関という目的に沿った事業や施設の貸し出しを行う予定である。大規模整備にあつたての財源は、新築する際の補助金はないようである。ただし、耐震補強などに関して防災減災の要件を満たせば見込めるものもある。

Q 町政懇談会は住民と接しているいろいろな意見要望を聞く機会として捉え大切な事業である。多くの住民が参加するために周知方法を見直すべきと考えるが。また、執行部の出席も見直しをしたらどうか。

A 周知方法については、開催場所や日時など創意工夫をして多くのみなさんに参加していただくよう今後も努めたい。執行部の出席は、町長、副

町長、教育長及び各課長が出席している。今後もこの体制で臨みたい。定期的には5地区で各分野のプロジェクト



住民と行政の協働によるまちづくりのための町政懇談会（平成30年6月29日／坂上公民館）



須崎幸一 議員

チームを立ち上げて、住民との意見交換を行い情報の共有を図ることを提案する。

A 「まちづくり参加条例」で、「ひがしあがつま創生会議」を設置した。創生会議は公募住民を始め、本町に関わりのある産・官・学・金・労・言の各分野からの委員で組織する会議である。創生会議で、今後の運営方法や審議の進め方などは相談したい。議員の提案も参考にして、「住民が誇りを持って暮らすまちづくり」につながる創生会議の組織体制構築に努めたい。

議案などの審議結果

第1回 定例会（平成31年3月4日～15日）

議案名	議員名	出席者数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	議決日	
						浦野政衛	高橋徳樹	里見武男	小林光一	重野能之	竹淵博行	佐藤聡一	根津光儀	樹下啓示	山田信行	茂木恒二	金澤敏	青柳はるみ	須崎幸一		
東吾妻町特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
東吾妻町監査委員条例の全部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
東吾妻町総合計画審議会条例の全部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
東吾妻町体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
東吾妻町体育施設使用料条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
東吾妻町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
東吾妻町森林環境譲与基金条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
東吾妻町立学校給食センター設置条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
平成31年度東吾妻町一般会計予算		14	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	3/14
平成31年度東吾妻町国民健康保険特別会計予算		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
平成31年度東吾妻町後期高齢者医療特別会計予算		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
平成31年度東吾妻町介護保険特別会計予算		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
平成31年度東吾妻町地域開発事業特別会計予算		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
平成31年度東吾妻町下水道事業特別会計予算		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
平成31年度東吾妻町簡易水道特別会計予算		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
平成31年度東吾妻町下水道事業会計予算		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
平成30年度東吾妻町一般会計補正予算（第6号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
平成30年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
平成30年度東吾妻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
平成30年度東吾妻町介護保険特別会計補正予算（第3号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
平成30年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算（第3号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
平成30年度東吾妻町簡易水道特別会計補正予算（第3号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
権利放棄につき議決を求めること		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
東吾妻町立特別養護老人ホームいわびつ荘の指定管理者の指定		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
東吾妻町農業委員会の委員の過半数を認定農業者及び認定農業者に準ずる者とする		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
東吾妻町農業委員の任命		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
町道路線の廃止		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
町道路線の認定		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
工事請負契約の変更締結		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
工事請負契約の締結（岩島小学校空調設備設置工事）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
工事請負契約の締結（坂上小学校空調設備設置工事）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める」意見書提出を要請する請願書 ※委員会の趣旨採択に対し		14	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	3/14

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、／…退席 ※議長（1番）は採決に加わらないため「-」で表示

皆さんからの請願・陳情

請願	趣旨採択	「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める」意見書提出を要請する請願書（内容：国において十分な財政措置を講じるよう意見書の提出を要望するもの）	群馬県自治体一般労働組合 執行委員長 宮内政己 紹介議員 金澤 敏	総務建設常任委員会
陳情	継続審査	「全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める」陳情書（内容：議会在が提言の主旨を支持し、国へ意見書を提出することを求めるもの）	日米地位協定を見直す会 共同代表 難波希美子	総務建設常任委員会

想 函 議 会

校 生 議 会 及 び 懇 談 会 を 開 催

昨年12月20日、吾妻中央高校生議会及び懇談会
未来予想函議会が、旧東吾妻町役場3階の議会議
場で開かれました。9名の高校生議員からの一般
質問に対し中澤恒喜町長らが答弁を行ったほか、
閉会後は参加者全員で懇談会を行いました。

町政一般質問 (要旨)

東吾妻町における特別養
護老人ホームや老人保健
施設について

2番 兵藤優生議員

Q 介護に関する問題は数多く、全国的に特養、老健不足や待機者が多いことなどいろいろ報道されている。東吾妻町では特養、老健は足りているのか、待機者の人数は。少子高齢化が顕著な町の現状と今後の対策を伺う。

A 町には特別養護老人ホームが1カ所、小規模特別養護老人ホームが1カ所ある。老人保健施設は近隣市町村の施設を利用していただいている。平成30年5月1日現在、町の特別養護老人ホーム

への待機者は85名おり、特別養護老人ホームの短期入所サービス等を利用して入所待ちをしている。町の状況と今後の対策

は、施設サービスをふやす計画はないが必要となれば施設の新設を計画に盛り込むことを考えている。今後は介護予防及び健康寿命の延伸に重点を置き、健康寿命を延ばす町をスローガンに生活支援サービス体制推進事業を進め、高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるように、介護保険事業を進めていく。

箱島で開発されたニジマスの箱島スチールヘッドについて

3番 野口新太郎議員

Q 私は釣りが好きで、箱島スチールヘッドに興味がある。釣ったときには、他のニジマスとは比較にならないほどの強い引きに驚いた。このすばらしい魚をより多くの人に知ってもらうため、漁協と協力して各河川に放流したりインターネットでPRしたり、釣り教室を開くなど広く宣伝してはどうか。自然豊かで清流に恵まれた東吾妻町は、釣りを趣味とする人にとって魅力的な場所だと思つので、この土地のよさを生かし、ぜひ箱島スチールヘッドを大きく取り上げていただきたいが。

A 箱島スチールヘッドは、野性味が強いスチールヘッド系ニジマスと群馬県のみが保有する飼育しやすい箱島系ニジマスを交配し開発したニジマスをハコスチとして命名し、群馬県が商標登録したものである。大きさも500g以上に育成され

たものとしている。漁協からは、民間での養殖も始まったばかりで生産量も少なく、価格も1匹1000円と高額なので、来年度から試験的に吾妻川及び温川に少量の放流を検討していると聞いている。県の商標登録であり町単独でのPR等は難しいと思うが、釣りを趣味とする方にとって魅力的な場所の情報提供を県に行つ中で、連携を行いながら進めていければと考える。また、吾妻漁協東吾妻支部マス釣り大会でハコスチの宣伝ができるかを漁協などと相談をしてみたい。

降雪時の除雪について

4番 今井菜月議員

Q 吾妻高等学校に通っていた際、道路を除雪した雪が歩道に積み上がった状態を頻繁に目にした。そのため歩道が狭くなりとても危険だった。また、歩道は塩カルが余

未来予 吾妻中央高



りまかれていなかったの
で、登校していた私や小
学生らが凍った歩道や雪
に足をとられ、安全に登
校することが困難な状況
だった。この状態を改善
していただきたいが。

A 国道145号原町バ
イパスなどの県道の除
雪は、中之条土木事務所
が管理し実施している。
除雪は10cm程度の積雪が
あつた場合または見込ま
れる場合に、業者に通勤・
通学間に合うよう除雪
や融雪剤散布を実施して
もらっている。

現在、歩道等の除雪は
小中学校のPTAや地域
住民、企業によるボラン
ティアによって全線では
ないが実施をされている。
小型除雪機を地域に貸与
している自治体もあると
聞いているので、受託し
てくれる組織を含め検討
してまいりたい。

また、町道すべての除
雪は困難なので、現在除
雪を行っている路線以外

は、地域住民、企業によ
るボランティアに今後も
協力いただきたいと考え
る。歩道や日陰部の融雪
のための塩カル入り砂に
ついては、学校を通じて
管理している機関に要望
すれば配置は可能だと思
うが、散布は気づいた方
に協力をお願いしたい。

坂上地区の害獣について

5番 加邊新太議員

Q 坂上地区の害獣、特
にイノシシや猿などに
よる作物被害は深刻であ
る。坂上地区には街灯が少
なく、熊などの危険な野生
動物に遭遇するかもしれ
ない。現在、東吾妻町で
はどのような対策を講じ
ているのか。

A 熊の目撃情報につい
ては、警察に連絡をする
とともに担当職員が現地
を確認し、注意看板の設
置及び広報による注意喚
起などを行っている。目
撃情報が続き、被害が
想定される場合は、東吾

妻町鳥獣被害対策実施隊
員に有害捕獲許可を出し、
箱わなを設置して捕獲、
殺処分を行っている。

町の鳥獣被害対策は、
電気柵等の設置による防
除対策、鳥獣の捕獲等に
よる捕獲対策、緩衝帯整
備等による生息環境対策
などがある。防除対策は、
個人が農地に電気柵等を
設置することや集落単位
で設置を行う経費の一部
補助を行っている。捕獲
対策は主に町猟友会員の
方々に有害鳥獣捕獲をお
願いしている。猿の被害
が多い松谷・岩下地区で
取り組んでいただいでい
る生息環境対策は、農地
と生息地である山林等と
の間に見通しのよい空間
緩衝帯を人工的に整備し
て、山林等から農地に出
没しにくい環境をつくり
出すことや餌となる放任
された果実、農作物をな
くすこと、耕作放棄地を
なくすことなど、野生鳥
獣が侵入したり定着した

りしないような集落づくりを進めるものである。

買い物に行くことが出来ない人への対策について

6番 千川紗矢議員

Q 東吾妻町が行った町民アンケートの結果を読み、この町を住みにくくと思う人が上げる理由の一つとして、買い物が多不便だと感じている人が多くいることを知った。そこで、移動手段がない人やお年寄りなど買い物に行くことができない人に対してどのような対策を考えているのか伺いたい。

A 買い物弱者が置かれている環境はさまざま、これに対応するには、買い物代行や身近に買い物場を整える移動販売、家から買い物に出かけやすくする移動手段の確保などが有効であると考えられる。町では、商工会が窓口となって高齢者や買い物に不便をきたしている方を対象とした買い物代

行など、町内業者との間を取り持つ生活支援事業に対し、町内の商工業振興の観点から補助金を交付する支援を行っている。

また、坂上地区ではNPO法人が買い物などの送迎を行うサービスを行っている。日用品の宅配サービスでは、生活協同組合や農業協同組合などが行っていたり、一部の地域ではコンビニエンスストアなどの移動販売車の運行などが行われている。町としては、こういった各種サービスが継続できるような支援などを検討してまいりたい。

「自然と調和した暮らしができるまち」という基本目標3について

7番 田中那奈美議員

Q 東吾妻町第2次総合計画の中の自然と調和した暮らしができるまちの施策で低炭素・循環型社会の構築とあるが、低炭素という視点において、

電気自動車の普及はどのくらい進んでいるか。東吾妻町内にある電気自動車の充電設備はどこに設置されているか。また、東吾妻町が理想とする自然と調和した暮らしとは、具体的にどのようなものなのか詳しく伺いたい。

A 電気自動車の普及状況に関しては未調査だが、町内で電気自動車を余り見かけないので、普及率はかなり低いと思う。充電設備は、岩櫃ふれあいの郷、道の駅あがつま峡、ローソン吾妻岩島店の3カ所に整備されている。町が理想とする自然と調和した暮らしは、低炭素社会という観点から申すと、地球温暖化の原因の一つとされる温室効果ガスのうち、二酸化炭素を吸収する山林や森林が町の面積の78%を占めており、この自然環境を守ることが温室効果ガスを減らすことにつながる

と考える。自然環境の保

全という観点からは、自然を学んだり体験できる場所が必要で、野生動物からの被害を防ぐ対策により、野生動物と共生できる暮らしなどが考えられる。生活の基本ともいえる水という観点からは、森林の土壌が大雨による洪水緩和、乾燥期における水の貯留や水質浄化など重要な涵養機能を果たしている。そのおかげで安心して飲める水が確保され、その水を供給する水道施設が充実している

ことが大切である。あわせて污水处理が整い、衛生環境が整っていることも重要である。このよう

なことから、生活していく上での環境が充実し、いつでもどこでも誰でも安全で安心した暮らしができることが理想である

役場新庁舎について

8番 植木天正議員

Q 東吾妻町に住んでい



るクラスの友人に町の改善点を聞いたところ、新しい役場の前の道が狭く、小さい子供も利用しているので、役場が完成したら車の量が多くなったら危険なのではないかと指摘をしていた。建物はもちろん周辺環境にも配慮した設計をお願いしたいが、

A 新庁舎周辺の町道は狭く歩道は一部しか整っていないが、前身の旧温泉センターが営業して

いた20年間に大きな事故はなく、温泉営業時より来庁者が大幅にふえることもないと思われる。しかし、道路案内標識や電柱に案内広告を設置して安全に来庁者を誘導できるような整備し、新庁舎の出入りに戸惑って事故が起きないように対策をし、周辺の子供たちにも交通安全についての意識の向上を図っていく。

街灯の設置について

9番 竹淵翔平議員

Q 岩島や坂上地区などは街灯が少なく、暗くなると大変危険である。特に冬は小中学生の下校時は暗く、犯罪や事故に巻き込まれてもおかしくない状況である。この街灯に関する問題は、昨年と一昨年にも吾妻高校のJCK議会で指摘をされているので、早急に取り組んでいただきたい。

A 街灯は道路や歩道を照らす街路灯と防犯灯を

総称して呼んでいる。街路灯は道路や歩道の整備に合わせ基準に沿って設置され、道路によつては県が管理しているものもある。防犯灯は見通しの悪い場所や200m程度の間隔を基準として設置するが、当町は平成29年度末において合計1906基の防犯灯を管理している。今後、従来どおりの方法で街灯をふやしていくと、毎年費用がかさむことになり、費用の面から設置を検討せざるを得ないこととなってしまふ。しかし、子供たちに対しては教育委員会とも協力し、反射材や防犯ブザーなども含めて多方面から安全に取り組みたいと考えている。

学生向けの勉強スペースの新設について

10番 萩原椋議員

Q 高校生が勉強できる施設が余りなく、テスト期間にはスーパーマー

ケットや図書館に多くの高校生が集まってしまう。東吾妻町に勉強のできるスペースができれば地域の方に迷惑をかけず、吾妻高校がなくなり高校生の少なくなつた東吾妻町の活性化にもつながると思う。また、中央公民館は利用できないか。未来ある若者に勉強のスペースを提供していただきたいと強く希望するが。

A 勉強スペースは、渋川市が空き店舗を利用して、スタディバンクとして高校生放課後自習室を開設している。町でも群馬原町駅周辺で適当な場所が確保できれば、地域の高校生のために自習習施設を整備したいと考えている。中央公民館は幅広い年代の方に利用いただき現状としては余裕がない。利用する皆さんが落ちついて自主学習や読書に取り組めるよう配慮したい。今後は単に施設の提供だけでなく、利

用者の意見なども参考にしながらルールづくりや環境整備を図り、快適で健全な運営を目指すので、ご協力をお願いしたい。

Q バスの利用に関するアンケートに無料送迎サービスがあれば利用したいかとの質問があったが、無料送迎サービス等を考えているのか。

A 群馬原町駅から吾妻中央高校までバスが動いているが、利用者が少ないので何か対策がないかと行つたアンケートである。基本的には150円で安いと思つているので、先ほどの勉強スペースにそのバスを使つて来ていただく、原町周辺も高校生が多くなるので、それを狙つてバスを走らせた。無料送迎については具体的なものは考えていない。多くの生徒が利用するのであれば、その路線とは別に考えていこうと思つているので、群馬原町駅から高校まで行つ

ているバスを勉強に限らず買い物などにも利用していただきたい。

参加者名 (順不同・敬称略)

兵藤 優生(2年)	野口新太郎(2年)	今井 菜月(2年)	加邊 新太(2年)
干川 紗矢(2年)	田中那奈美(2年)	植木 天正(2年)	竹淵 翔平(2年)
萩原 椋(2年)	市場 歩夢(1年)	倉田 歩美(1年)	大前 優杏(1年)
角谷 来綾(1年)	石井 胡桃(1年)	加部 翔大(1年)	齊藤 陸空(1年)
山本 和哉(1年)	校長 鎌田 幸生	教諭 高橋 陽子	山田 瑞紀

各委員会からの活動報告

文教厚生常任委員会

●町長及び副町長：自立分散型エネルギー設備等導入推進事業は、災害時や低炭素社会のための太陽光発電など。総合計画審議会条例をまちづくり参加条例に変えるのは住民参加を推進したいとの答弁。吾妻溪谷活性化対策事業について、総額や財源などの明示や庁舎駐車場の一方向通行の徹底、日赤の脳神経外科や産婦人科の要望も出されました。町外学校へ通っている生徒への給食費補助は現在の条例では無理との



町民体育館の視察

こと。観光協会の公益法人化は来年度、駅構内の手狭の問題は今後検討とのことです。

●教育課：スクールバス補助が32年度でなくなることから、地域公共交通活性化協議会の議論を見守ることです。基隆市の中学生派遣は数名です。最後に町民体育館の改修の進捗状況の視察を行いました。

●保健福祉課：不妊治療費補助は年間4回。在宅介護は、利用者数の増加や介護度が増えているとの説明がありました。

●町民課：コンビニでの証明書発行は、証明書の取得場所の拡大が目的とのことです。

議会運営委員会

2月25日開催の議会運営委員会において、来年度における高校生議会・中学生議会の両議会の実施について協議しました。まず、中学生議会について



東吾妻中学生議会

では基本的に実施するということで意見の集約がなされました。高校生議会については2月25日の段階では実施する方向で行くとの意見の集約がなされました。また、今定例会中3月11日の議員全員協議会において、この旨をつなぎ、両議会ともに実施するということが確認されました。なお、いずれにしても新しい議会構成になったら、改めて吾妻中央高等学校と東吾妻中学校の両校にお願いに伺うということを確認させていただきました。

行財政改革推進

特別委員会

3月8日の委員会で、企画課から「新たな組織体制案の調査を進めて」の最終報告並びに、「第2次行財政改革推進プラン実施計画、推進期間2019～2021年度」の説明がありました。組織体制では、当町におけるワンストップサービスに関して「総合窓口業務マニユアル」案の作成と分科会メンバーによる試験的運用の結果等で最終段階とのことです。第2次行革推進プランでは、将来負担比率の改善は財政調整基金の積み増しで、実質公債費比率は2021年度より借入金償還が始まることで改善は見込めないとのこと。質疑で委員の認識は次世代に多大な負債を残すことは避けるべきとの認識に対し、次世代にも負担を求める執行部側の認識の違いが明らかになりました。

総務課は「庁舎移転・

各委員会からの活動報告

建築に関する経費の概算額及び現行予算額一覧表」の説明でしたが、当委員会は総額を求めたのに対し総務課のみの決算予定額で、付け替えた健康増進施設の経費や旧庁舎解体費などは除かれていて、総額は示されませんでした。

八ッ場ダム及び地域 開発事業対策特別 委員会

3月11日特別委員会を開催し、その中で国交省よりダムの打設が完了した報告と、県より大柏木トンネルの型枠制作中と町より委託を受けたJR廃線敷や旧国道145号廃道区間の事業の進捗状況の説明がありました。町よりJR廃線敷の自転車型トロッコや旧国道145号廃道区間の今後の計画や道の駅吾妻峡地内のWELLエリアの説明がありました。また、上信自動車道の進捗状況の報告

があり、吾妻西バイパスは平成33年度末完成予定との報告がありました。なお、1月25日には神奈川県宮ヶ瀬ダムのダム下等の視察を実施しました。宮ヶ瀬ダムは総貯水量1億9300万m³（八ッ場ダムの約2倍）で、神奈川県の水がめとして成り立っています。3エリアに年間166万人が訪れており、またダム下エリアには88万人が訪れ、年間500回のイベントや観光放流を行っているようです。委員からは冬季の平日なので賑わっているとところが分か



宮ヶ瀬ダム視察

らなかつたが、八ッ場ダムも冬季は厳しいものがあるとの意見がありました。下流の渓谷の美しい景観を観光資源とし、長野原町や草津町、嬭恋村との連携も考えていくべきとの意見がありました。

地方創生調査 特別委員会

若者定住促進事業で新たな住宅取得者は19件で大人27人、子ども22人という結果が出ました。他アクシオンプランも実現に向けて進んで、新年度予算を得て実現・実行に一步進む状況です。当特別委員会では過去に5カ所の行政視察を行いました。

- ①若者住宅供給で定住人口増に成功している長野県下條村。
- ②町長の示す4つの柱に向かい、シャッター街の解決に町民と取り組んでいる嵐山町。
- ③高齢者1人1人の生活

課題を把握し、データに基づく地域包括ケアアシテム和光版を創り、住民に寄り添う行政を目指し実行している和光市。

④過疎地のガソリンスタンドを地域の事業者が100万円ずつ出資して運営しているみなかみ町の藤原石油。

⑤渋川市では住民と公民館の防災の取り組みと空き店舗を活用した学生の勉強部屋、スタディバンク等を視察し刺激を受け視野が広がりました。各市町村では情熱をもって語る職員もいて、感銘を受けました。



平成29年5月に視察した渋川市のスタディバンク

